

3/4  
福

# 原発事故「懸念」8割超

## 全国世論調査「復興進まず」過半数

日本世論調査会が二月二十四、二十五日に実施した東日本大震災と東京電力福島第一原発事故に関する全国面接世論調査で、原発の安全性は向上したと思う

が、深刻な事故の懸念は残ると答えた人が過半数の56%に上ることが分かった。安全性は向上しておらず事故の懸念も残るとの回答は27%で、大多数が原発事故

への不安を抱いていた。

震災から間もなく七年。

被災地の復興は「どちらか

といえば順調」が40%、

「どちらかといえば順調で

ない」が36%でほぼ同水準

だった。国の取り組みは

「大いに評価」「ある程度

評価」が計63%だった。被

災地や第一原発の現状は37

%が「関心は高くなった」

と回答。一般の人ができる

福島県の復興支援は「報道

などで現状を知る」が30%

で最多だった。

今後の原発の在り方は、

64%が「段階的に減らして

将来的にゼロ」、11%が「い

ますぐゼロ」と答えた。「段

階的に減らす」が新しい原発

をつくり一定数維持」は20

%、「新しくつくり事故前

の水準に戻す」は2%。脱

原発を求める意見は多数派

を占め続け、原発を活用し

たい政府は難しい政策判断

を迫られそうだ。

政府は、原子力規制委員

会の新規制基準に基づく審

査に合格した原発の再稼働

を進めている。しかし「新

基準で安全性が向上し、深

刻な事故も起きない」は5

%にとどまった。事故時に

計画通りに住民が避難でき

るかは「あまりできる」とは

思わない」が43%、「でき

るとは思わない」が22%と

否定的な見方が強い。東電

が経営再建の柱と位置付け

る柏崎刈羽原発（新潟県）

の再稼働は「賛成」が27

%。「事故の全体像や責任

の所在が解明されない限り

反対」が44%、「どのような

状況でも反対」は26%だ

った。

【注】小数点一位を四捨

五入した。

被災地の復興は順調に進んでいると思うか

